

令和元（平成 31）年度

事 業 報 告
決 算 報 告

救うこと、つづける。

昔も今も日本赤十字社は
変わらぬ理念で人道的な使命を果たすため、
国内外でさまざまな活動を行っています。



－ 目 次 －

令和元(平成 31)年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	2
2	赤十字講習の充実	8
3	青少年赤十字の育成	10
4	国際活動の推進	12
5	救護看護師の養成	14
6	血液事業の推進	14
7	赤十字ボランティアの育成	15
8	効果的な広報活動の展開	23
9	活動資金の募集及び表彰制度	24
10	奈良県支部有功会	26

令和元(平成 31)年度 一般会計決算報告

1	令和元(平成 31)年度 一般会計決算報告	27
2	令和元(平成 31)年度 会費収入	28

参考資料

1	令和元(平成 31)年度 一般会費及び法人会費収納実績表	...	29
2	令和元(平成 31)年度 火災・水害等による救援物資配布・ 弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況	...	30
3	令和元(平成 31)年度 市町村別講習一覧	31

注記) 令和 2 年 3 月以降の会議・研修会・講習会等の行事は、新型コロナウイルスの
感染拡大の影響を受け、密閉・密集・密接を避けるため、中止または延期
しました。

1 災害救護体制の強化 ー災害からがいのちを守るー

令和元年は、8月豪雨、台風15号、台風19号などにより災害が発生し、多くの地域に甚大な被害をもたらしました。また、近年は大規模地震による災害等も頻発しており、近い将来には、南海トラフ地震などの大規模災害の発生が危惧されています。このため、災害救護体制の整備・強化に取り組むとともに、救護資機材の更新と救護班要員装備品の整備を令和元年度から令和3年度までの3ヵ年計画で、重点的に行なっています。

(1) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名 称	班数	備考（委託契約締結日）
地方独立行政法人奈良県総合医療センター	2班	平成26年4月1日
地方独立行政法人奈良県西和医療センター	2班	〃
南奈良総合医療センター	1班	平成28年4月20日
市立奈良病院	1班	平成26年4月1日
大和高田市立病院	1班	平成26年9月1日
奈良県立医科大学附属病院	1班	平成28年11月1日
合計	8班	

※1班の体制：医師1名・看護師3名・薬剤師1名・主事1名・調整員1名 計7名

(2) 救護班訓練

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

主 催	実 施 日	訓 練 名 称	会 場	支 部 参 加 者 (参 加 総 数)
赤十字	滋賀県支部	6月15日 第4ブロック(近畿) 合同災害救護訓練	滋賀県竜王町 総合運動公園 他	32名 (700名)
行政	奈良県	8月31日 奈良県防災総合訓練	桜井市芝運動公園	19名 (1,300名)



【第4ブロック合同災害救護訓練】
～救護所での医療救護活動～



【奈良県防災総合訓練】
～防災ボランティアによる担架搬送～

(3) 日赤災害医療コーディネーターの及びスタッフの登録

県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

医療コーディネーター・スタッフ一覧

	南奈良総合医療センター	奈良県総合医療センター	奈良県立医科大学附属病院
コーディネーター (医師)	守川 義信 明石 陽介	關 匡彥	淺井 英樹
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代		南田 哲平
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	西島 正人	松井 俊典

※医療コーディネートチームは、医師・看護師・薬剤師・主事（事務職員等）で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

※主事は、支部職員2名が登録されています。



【奈良県総合医療センター】



【南奈良総合医療センター】

(4) 救護班等研修会

救護班等の技術向上を図るため研修会に参加しました。

実施日	研修名称 内 容	主催	参加人数
5月12日	救護班基礎研修会 赤十字の災害救護活動 災害医療体系的アプローチ 避難所アセスメント	奈良県支部	32名
8月24日～ 26日	全国救護班研修 災害医療の考え方 日本DMATと日赤救護班の活動内容 医療救護対応に必要なスキル	大阪府支部	3名 〔奈良県西和医療センター2名 支部職員1名〕
9月14～15日	日赤災害医療コーディネート研修会 日赤災害医療コーディネート体制 事例から見た日赤医療コーディネート 法規と他機関とのコーディネート	本社	4名 〔奈良県医科大学附属病院3名 奈良県総合医療センター1名〕

● 救護班基礎研修



【守川医師による講義】



【非常食の炊き出し訓練】

(5) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、令和元年度から令和3年度までの3ヵ年計画の初年度として、重点的救護資機材・救援物資の整備を行いました。

令和元年度に新たに整備した主なもの

品名	型式	数量	品名	型式等	数量
災害救援車	トヨタヴォクシー	1台	災害救援車	トヨタレジアス 救急車	1台
地区分区 災害救援車	ダイハツハイゼット	3台	ターニケット (止血帯)		50個
非常食	アルファー米(50食6種) パン(50食) 惣菜(50食) ドライスープ(2種)	1,150箱 50箱 50箱 300食	救護員作業衣	救護服上下 Tシャツ	30着
			デジタルカメラ	ソニーDSG-WX500B	1台
タブレットPC	レッツノート CF-QV8TDCVS	1台	デジタルカメラ		1台
LED作業灯	YC-48K 48W	3個	レスキューカー		2台
布団	6点セット	100組	ブルーシート	3.6m×5.4m	100枚

※非常食の一部は、奈良県赤十字血液センター及び南奈良総合医療センターで備蓄しています。

〔奈良県赤十字血液センター：アルファー米（50食入）450箱、パン（50食入）50箱
南奈良総合医療センター：アルファー米（50食入）400箱〕



【災害救援車】



【災害救援車：救急車】



【非常食】



【救護員作業衣】



【ブルーシート】



【布団 6点セット】

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※()の数字は令和元年度に整備したもの

品名	数量	品名	数量	
救護班要員装備品	携帯医療セット	5	大型フレームテント	2
	救護班要員携行パック	30	大型エアーテント(ハイブリット式)	1
	医療資機材携行用鞄(1セット4パック)	7	エアーテント(大1・小1)	2
	パルスオキシメータ	9	組立式テント	12
	電子体温計	20	ワンタッチテント(大2・小6)	8
	ターニケット(止血帯)	50(50)	プライベートテント	1
	自動体外式除細動器(AED)	3	間仕切り用プラテーション(2種)	30
	救護服:上下	196(10)	簡易トイレ	2
	救護服:雨衣	30	簡易トイレ用ワンタッチテント	4
	救護服:防寒衣	30	自家発電機(ガソリンタイプ)	5
	救護服:Tシャツ	110(20)	水銀灯付発電機	1
	防護メガネ	20	蓄電池	1
	防塵マスク	10	投光器	2
	防寒用ブランケット	30	誘導灯	5
	LEDヘッドライト	10	LED作業灯	3(3)
	懐中電灯	10	冷暖房機器 (冷暖房器:3、暖房器:1、冷房器:3)	7
	ペンライト(ホルダー付)	30	診療用机・椅子	1
	寝袋	50	診察台	4
	万能ハサミ	20	折畳式寝台	80
	ホイッスル	50	キャンバスベッド	6
	非常食:アルファー米(50食)	572(300)	傷病者用毛布	70
	非常食:ビスケット	34	担架	15
	非常食:ドライスープ(2種)	300(300)	担架架台	10
	非常食:粥(2種)	321	浄水器	1
	非常食:惣菜(3種)	155(50)	拡声器	5
	非常食:水(24本)	30	リヤカー(大・小)	各1
	非常食:丂(2種)	65	レスキューカー	2(2)
機材・原子力他対応資材	空間線量率測定用サーベイメータ	1	移動炊飯器	11
	防護服セット	6		
	デジタル個人線量計	7		
	NBC除染資機材セット	1		
支援要員資材	ボランティアユニフォーム	40	業務用無線基地局	2
	ボランティア反射チョッキ	50	業務用無線移動局	14
	ボランティア帽子	50	業務用無線携帯局	21
	防寒衣	59	アマチュア無線局	1
	雨衣(白色・黄色)	50	室外設置用外部アンテナ	3
災害救護車両	災害通信指揮車(衛星電話搭載)	1	デジタル通信システム (D-STAR レピーター)	2
	救急車	1(1)	携帯電話	1
	災害救援車	5(1)	データ通信端末	1
	救護資機材運搬トラック	1	デジタルカメラ	3(1)
			タブレット	1(1)
			衛星携帯電話	3

【地区分区(市町村)】※()の数字は令和元年度に整備したもの

品名		数量	品名	数量
災害対応資機材	災害救援車	54(3)	ワンタッチテント(大)	24
	移動炊飯器	59	自動体外式除細動器(AED)	33
	発電機：ガソリンタイプ 1600W	22	発電機：ガソリンタイプ 900W	3
	LED 投光機：スタンドタイプ	36	発電機：プロパンタイプ 850W	11

② 救援物資の整備

●備蓄状況(支部・地区分区において配備)※()の数字は令和元年度に整備したもの

毛 布	緊急セット	安眠セット	布 団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
2,837 枚	1,211 セット	1,132 セット	396 組(100 組)	863 枚	585 枚(100 枚)	756 枚

●救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テント	A E D
件数	8 件	0 件	3 件

●火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	37 世帯	毛 布	緊急セット	布 団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人 数	96 人	113 枚	31 セット	76 組	77 枚	0 セット	7 枚	24 枚

【弔慰金の支給】

人 数	金 額
2 名	40,000 円



【毛布】



【安眠セット】



【緊急セット】

(6) 救急箱薬品の整備

昭和 37 年から県民の方々や観光客等がケガされた際に、交番や駐在所においても簡易な応急手当ができるように救急箱の設置及び薬品の更新を隔年で行っています。

【平成 30 年度実績】
薬品(10 点セット)177 セットを県内全ての交番・駐在所分へ贈呈。



【救急箱薬品の贈呈】

(7) 災害時物資支援協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは充分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



【(株)八百彦商店との物資支援協定
: H26.2月11日締結】



【一般社団法人奈良県 LP がく協会との
物資支援協定 : H29.1月23日締結】



【板倉石油(株)との物資支援協定
H29.10.25締結】

(8) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和元年度受付実績】

(単位 : 円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	過去の累計
東日本大震災義援金	107	3,902,860	令和3年3月31日	1,532,427,979
熊本地震災害義援金	69	470,961	令和3年3月31日	145,199,756
7月5日からの大雨災害義援金	11	93,361	令和3年3月31日	14,283,990
7月豪雨災害義援金	112	2,061,347	令和2年6月30日	64,619,534
北海道胆振東部地震災害義援金	77	382,074	令和2年3月31日	6,776,404
8月豪雨災害義援金	134	3,994,133	令和2年8月31日	
京都市伏見区放火事件被害者義援金	4	540,739	令和元年10月31日	
台風第15号千葉県災害義援金	45	4,199,303	令和3年3月31日	
台風第15号東京都義援金	5	62,079	令和2年2月29日	
台風第19号災害義援金	279	19,189,794	令和3年3月31日	
合計	843	34,896,651		

2 赤十字講習の充実 ーいざという時に備えてー

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。また、地域包括支援事業として、地域サロン等での「健康生活・介護予防」のための講習にも取り組みました。

令和元年度は、県下各地で 332 回開催し、延べ、10,992 人の方に受講いただきました。

(1) 防災・減災のための講習会

地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県下各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2 時間以上	29 回	1,299 人
災害時要配慮者生活支援講習			
防災セミナー	適宜	7 回	257 人
計		36 回	1,556 人



【赤十字防災啓発プログラム】



【災害エスノグラフィー】
～富雄地区女性防災クラブ～



【災害時要配慮者生活支援講習】
～身近なものを使って応急手当～

(2) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生や A E D の使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4 時間	14 回	297 人

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能になります。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救急員養成講習	12 時間	10 回	185 人
短期講習	2 時間以上	112 回	3,834 人
指導員養成講習	30 時間	1 回	11 人
計		137 回	4,327 人



【救急員養成講習】

② 水上安全法

水の事故防止を中心に、事故発生時必要な応急手当や着衣泳（服を着たまま溺れた場合の対処方法）講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成 I 講習	14 時間	1 回	12 人
短期講習	2 時間以	38 回	1,894 人
指導員養成講習(パートナーコ同)	30 時間	1 回	4 人
計		40 回	1,910 人



【救助員養成 I 講習】

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などを学ぶ「支援員養成講習」や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12 時間	5 回	54 人
短期講習	2 時間以上	33 回	1,279 人
指導員養成講習	30 時間		
地域包括支援事業	適宜	15 回	393 人
介護職員初任者研修・実務者研修	55 時間	1 回	34 人
計		54 回	1,760 人



【支援員養成講習】

④ 幼児安全法

乳幼児に対しての救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などを習得する「支援員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12 時間	3 回	37 人
短期講習	2 時間以上	47 回	1,103 人
指導員養成講習	30 時間	1 回	2 人
計		51 回	1,142 人



【支援員養成講習】

3 青少年赤十字の育成 – 思いやりを育む –

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

(1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園	小学校	中学校	高等学校	計
加盟校	29 校	73 校	16 校	11 校	129 校

(2) 青少年赤十字トレーニング・センターの開催

他校の児童と集団生活を送る中で、児童が赤十字の精神、ボランティアのことを学習するとともに、自主的に活動する姿勢を養い、リーダーや協力者となりそれぞれの役割を理解し、助け合う必要性を自覚するし社会性と協調性を育むことを目的に実施しました。(7月31日～8月3日：奈良ユースホステル)



【青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター】

(3) 青少年赤十字防災教育推進事業

青少年赤十字加盟推進並びに新しい指導者を養成するため、県教育研究所において、小・中学校、高等学校の教諭や養護担当教諭等を対象に、「防災教育プログラム」の効果的な活用や防災講習を実施しました。

実施日	研修内容	実施場所	参加対象者及び人数
8月16日	中堅教諭等資質向上研修講座（防災教育）	県立教育研究所	小・中・高等学校、特別支援学校の教職員（採用4～11年目） 56



【(防災教育教材：冊子・DVD)】



【県立教育研究所での防災講習】

(4) 「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」(幼稚園・保育所向け)

子どもたちが「自分のいのちは、自分で守る！」ことができるようになることを目的に、防災教育教材「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」を活用した講習会を随意開催しています。今年度は教材として「おりがみ」を作成しました。随意、講習開催時に配布します。



【防災教育教材：「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん！」】



【防災教育教材：おりがみ】

(5) 国際交流派遣事業：第4ブロック合同青少年赤十字国際交流：9月12日～16日

第4ブロック合同青少年赤十字国際交流として、マレーシア赤新月から、ユースメンバー12名と指導スタッフ3名の合計15名を受け入れました。奈良県支部では、ユースメンバー2名を受け入れ、奈良市立飛鳥小学校と奈良県立磯城野高等学校を訪問するなど、互いのメンバー同士のふれあいを通じて、国際理解・親善を深めました。



【第4ブロック合同国際交流（受入）事業】

(6) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良市立 飛鳥小学校	飛鳥スマイルキッズ「花いっぱいプロジェクト」	475名	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の清掃活動 ●花の寄せ植えプレゼント ●空き缶、古着のリサイクル活動 ●学校花いっぱいプロジェクト
奈良市立 大安寺小学校	みんなで創ろう「笑顔あいさつつながり心の通じ合う学校」	321名	<ul style="list-style-type: none"> ●奉仕活動により、子供たちに自己有用感を高める ●清掃・環境美化活動の推進 ●あいさつ運動の推進
奈良市立 鼓阪小学校	鼓阪100(パーカクト)縁でつなぐ学校と地域	96名	<ul style="list-style-type: none"> ●花壇やプランターの整備 ●清掃・環境美化活動の推進 ●あいさつ運動の推進
奈良市立 東市小学校	東市まるごと笑顔100% 東市入学式プロジェクト	219名	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の花壇にチューリップの球根を植え、入学式に新入生を迎えるための学校環境を整える ●植栽活動を奉仕作業・清掃活動につなげ、自分たちの力で自分達が住む環境を整える気持ちを育てる



【飛鳥小学校】
～育てた花のプレゼント～



【鼓阪小学校】
～地域赤十字奉仕団による紙芝居～



【東市小学校】
～学校花壇の整備～

(7) 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
5 14	県青少年赤十字指導者協議会	支部	令和元年度トレーニング・センターについて	7
	24~26 青少年赤十字リーダーシップトレーニングセンター指導者養成講習会	東京都	青少年赤十字と学校教育、トレーニング・センターの運営	1
6 15	第4ブロック青少年赤十字指導者研修会	大阪府	赤十字と青少年赤十字について 集団生活を通じた学習活動について	1
	24~25 全国指導者協議会総会・研修会	本社	講演「学校教育と青少年赤十字」 青少年赤十字活動報告	1
11 23	青少年赤十字指導者中央講習会	本社	青少年赤十字事業の取組みと長期ビジョン 青少年赤十字と人道的価値観の普及	1
12 24	青少年赤十字児童・生徒交流会	奈良市	国際交流体験発表 「NHK 海外たすけあい街頭募金	68
R 2 1 9	青少年赤十字研究会	本社	赤十字と青少年生十字 講演「青少年赤十字と学校教育」、「赤十字が	1

4 国際活動の推進 ー世界とつながるー

世界 192 の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。



(1) 支部の国際活動への参加

フィリピン保健医療支援事業に資金協力をしました。

【フィリピン保健医療支援事業】

(2) 海外救援金【令和元年度実績】

(単位：円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度まで
中東人道危機救援金	4	21,003	令和3年3月31日	164,451
バングラデシュ南部避難民救援金	4	25,007	令和3年3月31日	34,774
モザンビーク・サイクロン救援機	4	31,791	令和元年6月30日	
合計		77,801		

(3) NHK海外たすけあい

① 受付件数・金額

受付窓口	件数等	金額(円)	付記
日赤奈良県支部	106	255,121	南都銀行、農協の振込を含む
NHK奈良放送局	37	427,920	奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・生駒市・香芝市・生駒郡・磯城郡の地区奉仕団より各2名が協力
街頭募金	16	486,178	地域奉仕団及び青少年赤十字が実施
ゆうちょ銀行	455	4,419,474	県民から本社への振込
合計		5,588,693	



【街頭募金：桜井市赤十字奉仕団】



【街頭募金：青少年赤十字メンバー】

【街頭募金実績】

月日	実施団体名	場所	人数	金額
11	3 山添村	山添村ふるさとセンター		3,418
	香芝市	香芝ふれあいフェスタ		6,230
	23 高取町	高取町お城まつり会場		37,445
	26 天理市	天理総合駅前、天理ようづ相談所病院前	15	47,938
12	1 奈良市	道の駅「針テラス」	11	22,161
	1 桜井市	近鉄/JR 桜井駅、JR 三輪駅、大神神社	18	40,188
	生駒郡	斑鳩町産業まつり	9	32,032
	3 大和高田市	トナリ工大和高田	9	11,136
	4 宇陀市	近鉄榛原駅	14	16,881
	5 五條市	Aコープ、イオン五條店、オーツワ、ボトルワールドOK五條店、吉野ストア五條店	14	52,120
	7 御所市	ライフ御所店	9	64,317
	8 生駒市	近鉄生駒駅	8	16,230
	12 奈良市	近鉄奈良駅	9	21,706
	17 北葛城郡	JR 王寺駅、イズミヤストアセンター広陵店	11	27,174
	大和郡山市	近鉄郡山駅、アスモ郡山店、市役所周辺	20	51,293
	24 青少年赤十字	近鉄奈良駅周辺	19	35,909
合計				486,178

5 救護看護師の養成 ー国内外で活躍できる看護師をー

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、大阪赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。
また、看護学生への奨学金の貸与も行いました。

(令和元年度)

養成学校	1年	2年	3年	計
大阪赤十字看護専門学校	2人	2人	1人	5人



【戴帽式】



【看護体験学習】

6 血液事業の推進 ー献血にご協力を!!ー

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

(1) 愛の血液助け合い運動 (7月1日～8月31日)、全国学生クリスマス献血 (12月)、はたちの献血キャンペーン (1月1日～2月28日)、バレンタイン献血(2月1日～28日)等を実施しました。



【近畿学生献血推進協議会キャンペー】

(2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。

- ・献血セミナー
- ・献血まるわかりゼミ
- ・献血啓発ポスター募集



【大学献血セミナー】

(3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出：県有功会)

- ・愛の血液助け合い運動
- ・はたちの献血キャンペーン

7 赤十字ボランティアの育成 －活動を支える－

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただき ており、また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダ的存在であるため、そ の活動を積極的に支援しました。

(1) 地域赤十字奉仕団（団数及び団員数：39 団、3,464 名）昭和 23 年発足

- ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問（岡山県）と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
- ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンキャンペーンへの参加、N H K 海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

① 「地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業」

地域赤十字奉仕団（分団）が取り組む赤十字活動に対し助成金を交付し、奉仕団の活動を促進することにより、赤十字活動に対する県民の理解を深め、健康で安心に暮らせる共同社会の構築に寄与する奉仕活動に助成金を交付しました。

奉仕団名	事業名称	活動内容
奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団	大宮ふれあい農園「世代をこえて人の輪を広げよう：	<ul style="list-style-type: none">・放課後子ども教室の児童・生徒たちと、貸農園で野菜を栽培し、作物の成長の様子や収穫の喜びを感じさせる。・地域の大人や婦人会のメンバーにも、奉仕団員が呼びかけ、一緒に畑を作ることで、畑が子どもたちと地域の人々の交流の場となることを期待する。
奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団	いきいき歌声サロン大宮	<ul style="list-style-type: none">・音楽を聞いたり、歌ったりすることによって認知症予防や進行抑制の効果があるといわれていることから、日本音楽療法学会、認定音楽療法士の指導のもと、いきいき歌声サロン大宮を開催。・ストレス発散とリラクゼーション効果を促進し、また口腔ケアや心肺機能の活動を図る運動をしたり、お手玉による手の運動、脳トレクイズなど、介護予防と自身の健康に繋げる活動を実施。
奈良市地区赤十字奉仕団精華分団	赤十字活動の普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none">・夏祭りでの防災紙芝居（子供たち対象）や模擬店での防災食の紹介と試食を実施・地域の子育て広場での防災紙芝居や防災頭巾の作成、提供・地域住民が参加し、防災グッズ作成、提供・敬老会での募金活動実施
奈良市地区赤十字奉仕団左京分団	左京おきがる食事会	<ul style="list-style-type: none">・奉仕が中心となり、地区社会福祉協議会や民生児童委員の方々に協力いただき、子供の居場所づくりを目的に地域住民と子供のふれあい、絆を深めるため、左京おきがる食事会を実施。・食事会の後、折り紙やミニゲームなどによる交流会を実施。
天理市赤十字奉仕団	赤十字活動の普及啓発	<ul style="list-style-type: none">・子供たちに紙芝居を通じて、アンリーデュナンの生き立ちなど、赤十字の生き立ちや理念を伝える・防災に対しての心構えを小さいころから身に着ける知識を子供たちに伝える・周りの大人にも、赤十字活動を知ってもらう機会となる。
御所市赤十字奉仕団	赤十字の普及啓発と団員確保	<ul style="list-style-type: none">・ハイゼックスなどを使って、バリエーション豊かなメニューで簡単においしく作れる非常食づくりの体験・自治会や他団体へ出向き、奉仕団員が指導者となり防災意識を高めるため、防災頭巾作りを伝える。・避難所で一番喜ばれるハンドケアを家庭でも体験してもらえるよう奉仕団員が癒しのケアを指導、実践する

奉仕団名	事業名称	活動内容
田原本町赤十字奉仕団	こども食堂運営事業	●地域の子供たち(主に町内の小学生対象)に無料(又は低額)で食事を提供するとともに、コミュニケーションを図り、地域で安心して過ごすことのできる「居場所」を提供する。
三郷町赤十字奉仕団	いきいきふれあいサロン	●地域で気軽に集える場所を作ることで、地域での孤立・閉じこもり防止や健康・生きがい作りを目的に、カラオケ、ウォーキング、季節の行事、茶話会、歯科衛生士による講義、奈良県支部による防災啓発プログラムなどを実施。
安堵町赤十字奉仕団	出前防災講習会と防災グッズの作成	●役場職員の協力のもと、災害が起きた時の避難場所(ハザードマップ)や備蓄用品などの知識を学ぶ。また身近な物を使った応急手当の講習も実施。 ●防災頭巾の作成



【奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団】
～大宮ふれあい農園～



【奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団】
～いきいき歌声サロン～



【奈良市地区赤十字奉仕団精華分団】
～防災紙芝居～



【奈良市地区赤十字奉仕団左京分団】
～左京おきがる食事会～



【天理市赤十字奉仕団】
～赤十字活動の普及～



【御所市赤十字奉仕団】
～いきいきふれあいサロン～



【田原本町赤十字奉仕団】
～こども食堂～



【三郷町赤十字奉仕団】
～いきいきふれあいサロン～



【安堵町赤十字奉仕団】
～AED 講習～

② ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県人会の方と交流を実施しました。(4月)

12日：岡山県瀬戸内市)



【ハンセン施設訪問】



- ③ 「赤十字フェスタ 2019 in なら」に協力しました。(5月25日：イオンモール橿原)



【広陵町赤十字奉仕団】
～錢太鼓の演奏～



【香芝市赤十字奉仕団】
～紙芝居＆寸劇～



【橿原市赤十字奉仕団】
～救護服＆ナース服試着の手伝い～

- ④ 一日赤十字開催、講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーンに参加しました。
- ⑤ 地域内での「法人会費」及び「災害義援金」の募集活動、「NHK海外たすけあい」の募集活動及びNHK奈良放送局での受付に協力しました。



【天理市赤十字奉仕団】



【川西町赤十字奉仕団】

⑥ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
4 8～ 6/26	地区委員会	県内 17 地区	令和元年度支部・血液センター事業計画報告等	314
5 30～31	奉仕団中央委員会	本社	講演「地域共生社会の実現に向けた地域作り」 分科会「幸せな地域作りのための奉仕団活動」	1
6 10	支部委員会	支部	地域奉仕団研修会について 実技「セラピューティックケア講習」	15
7 29	地域奉仕団研修会	奈良市	講演「避難所支援」 実技「セラピューティックケア講習」	194
8 3～4	防災教育事業指導者養成研修会	大阪府支部	日本赤十字社が実施する防災教育事業 赤十字防災セミナーの展開と指導者の役割 災害エスノグラフィー、災害図上訓練	2
8 24～26	ボランティアリーダー研修会	東京都	赤十字の基本方針と奉仕団活動 赤十字と奉仕団について 地域ニーズをとらえる	1
R2 2	4	奉仕団支部委員会	R1 年度事業中間報告 R2 度事業計画、血液事業について	13



【奉仕団支部委員会】



【地域奉仕団研修会研修会】



⑦ モデル奉仕団の指定による活動

奉仕団名	活動内容	指定期間
川西町赤十字奉仕団 (団員: 134名)	モデル活動名: 地域とともに歩む日赤奉仕団 会員募集への支援体制、広報、啓発活動、地域美化活動の共同実施、夏休みこども防災教室の実施、赤十字講習の受講、献血推進キャンペーンへの協力	令和元年度～令和3年度
三宅町赤十字奉仕団 (団員: 54名)	モデル活動名: 災害救護に関する活動 炊き出し訓練、防災頭巾の作成、救急法の受講、災害時避難所の研修	平成30年度～令和2年度
生駒市赤十字奉仕団 (団員: 15名)	モデル活動名: 災害救護に関する活動 炊き出し訓練、防災訓練への参加、救急法の受講	平成29年度～令和元年度



【川西町赤十字奉仕団】
～ポリ袋を使った非常食づくり～



【三宅町赤十字奉仕団】
～万能な風呂敷の使い方～



【生駒市赤十字奉仕団】
～救急法講習～

(2) 安全法指導赤十字奉仕団 (団員: 121名) 昭和52年発足

(救急法指導員 86名、水上安全法指導員 25名、幼児安全法指導員 24名、健康生活支援講習指導員 14名)

- ・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の講習を普及するために組織された奉仕団です。
- ・救急法などの各種講習会開催のほか、団員の知識と技術の向上を図るために、防災・減災に関する研修の実施や、災害時における救護活動を円滑に行うため、救護訓練に参加しました。

① 講習会指導状況

区分	回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習	14回	297人	52人
養成講習	救急法	185人	52人
	水上安全法	12人	10人
	幼児安全法	37人	3人
	健康生活支援講習	3人	1人
短期講習	救急法	3,481人	125人
	水上安全法	1,894人	65人
	幼児安全法	385人	21人
	健康生活支援講習	199人	6人
災害時要配慮者生活支援講習	6回	219人	9人
計	192回	6,712人	344人

- ② 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月15日：滋賀県竜王町)
- ③ 奈良マラソンでの救護支援として協力しました。(12月8日：奈良市鴻池陸上競技場)
- ④ 「赤十字フェスタ 2019 in なら」にAED講習として参加しました。(5月25日：イオンモール橿原)
- ⑥ 研修会、講習会等

月 日	行事名	場 所	内 容	人 数
4 12	ハンセン病施設訪問	瀬戸内市	国立療養所「邑久光明園」「長島愛生園」にて県人会との交流	1
	総会	奈良市	H30年度事業報告、会計報告 2019年度事業計画、予算等審議	37
	研修会		「防災講習」自助・共助について、避難所生活支援技術	33
5 11	救急法基礎講習会	奈良市	受講者31名	13
	救急法救急員養成講習会	奈良市	受講者27名	18
	水上安全法救助員養成講習会	大和郡山市	受講者12名	10
6 8・9	幼児安全法支援員養成講習会	支部	受講者16名	1
7 27	役員会	支部	8月の講習会、研修会について	5
8 3	救急法基礎講習会	奈良市	受講者25名	10
	災害時要配慮者生活支援講習会	支部	受講者10名	1
	救急法救急員養成講習会	奈良市	受講者33名	13
9 27	役員会	支部	研修会、12月の講習会について	13
10 23~25	健康生活支援講習支援員養成講習	支部	受講者3名	1
12 1	救急法基礎講習会	橿原市	受講者20名	10
	救急法救急員養成講習会	橿原市	受講者21名	14
R2 1	災害時要配慮者生活支援講習会	支部	受講者20名	2
	救急法基礎講習会	支部	受講者10名	2
2 1・2	救急法指導員養成講習事前研修会	支部		2
	奉仕団研修会	支部	防災セミナーエクスペリエンス 「日本赤十字社の紹介」「災害への備え」	33
	救急法指導員養成講習	支部		4
3 1	役員会	支部	総会の付議事項等	12



研修会



【講習指導】



【イベントでの講習指導】

(3) 無線・救護赤十字奉仕団 (団員: 25名) 昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。

今年度は、他府県との通信訓練、第4ブロック災害救護訓練、県合同防災総合訓練に参加しました。

- ① 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月15日:滋賀県竜王町)
- ② 奈良県防災総合訓練に参加しました。(8月31日:桜井市)
- ③ 奈良マラソンでの救護支援要員として協力しました。(12月8日:奈良市鴻池陸上競技場)
- ④ 「赤十字フェスタ 2019 in なら」に協力しました。(5月25日:イオンモール橿原)
- ⑤ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
4	13 第4ブロック連絡協議会代表者会議	大阪市	各府県活動報告・計画	1
	14 滋賀県奉仕団研修会	滋賀県	ボランティアセンター活動と運営支援	5
	21 総会	支部	活動報告・計画	11
5 19	通信訓練	支部		2
6 9	通信訓練	支部		2
8 17	通信訓練	支部		1
10 19・20	滋賀県奉仕団研修会	滋賀県	避難所運営ゲーム、避難所グッズ作成、避難所体験など	1
11 9	通信訓練	支部		4
12 14	研修会	奈良市	避難所グッズ作成等	7
無線通信訓練の実施	山口県(6/9)、岐阜県・北海道(7/14)、福島県(7/21)、新潟県・島根県(10/20)、兵庫県・徳島県(10/27)、栃木県(12/7)、愛知県(12/15)、鹿児島県(1/11)、大阪府(1/19)			



【総会】



【通信訓練】



【イベントへの協力】

(4) 看護赤十字奉仕団 (団員: 47名) 昭和48年発足

看護師の資格を有したボランティア組織です。主に地域社会に貢献しようと奈良マラソンや大立山まつりをはじめ、公共性の高い行事等の臨時救護や付添救護活動を通じて赤十字思想の普及に努めました。また、技術の向上を図るための研修会を行いました。

① 救護活動回数

区分	回数	人数
臨時救護	45回	114人
団体付添救護	10回	12人
計	55回	126人



【奈良マラソンでの臨時救護】



【付添救護】

(5) 青年赤十字奉仕団 (団員: 32名)

(奈良県青年赤十字奉仕団: 7名 昭和60年発足、近畿大学農学部赤十字奉仕団: 25名 平成4年発足、奈良大学学生赤十字奉仕団: 休団 平成24年度発足)

勤労青年や大学生によるボランティア組織です。主に赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

- ① 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月15日:滋賀県竜王町)
- ② 奈良県防災総合訓練に参加しました。(8月31日:桜井市)
- ③ 「赤十字フェスタ 2019 in なら」に協力しました。(5月25日:イオンモール樋原)
- ④ 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
5 26	青年奉仕団第4ブロック代表者会議	大阪赤十字会館	第4ブロック協議会活動報告、計画等協議	3
	第4ブロック青年奉仕団合同防災学習	大阪府立阿倍野防災センター	地震体験、防災・減災について	7
6 16	青年奉仕団基礎研修会	近畿大学農学部	赤十字について、救急法講習	15
8 8/3	青少年赤十字県トレーニングセンター	奈良市	トレーニングスタッフ	1
	第4ブロック合同青少年赤十字国際交流事業(受入)	滋賀県	交流集会応援スタッフ	1
9 21	第4ブロック協議会第1回役員会	大阪赤十字会館	第4ブロックリーダー養成研修会について	1
	第4ブロック青年奉仕団リーダー養成研修会	葛城市	赤十字7原則セミナー、リーダーについて	3
2 16	第4ブロック協議会第2回役員会	大阪府支部	協議会委員選出 R2年度協議会協議事項について	2
学内献血	4月・11月・12月	近畿大学農学部	献血の呼びかけ	75



【基礎研修会：近畿大学農学部奉仕団】



【第4ブロックリーダー養成研修会】



【イベントへの協力】

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団 (団員：16名) 昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織され、青少年赤十字を側面から支えています。トレーニング・センターの応援、ブロック研修会への参加などを行いました。

- ① 県トレーニングセンターに協力しました。(8月1~3日：奈良市)
- ② 「赤十字フェスタ 2019 in なら」に協力しました。(5月25日：イオンモール橿原)
- ③ 研修会等

月 日	名 称	場 所	内 容	人 数
5 31	賛助奉仕団総会	支部	R1年度活動計画	5
7 5~6	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	本社	H30年度事業報告、R1年度事業計画、防災実技研修	1
8	7 赤十字防災セミナー	宇陀市	避難所運営ゲーム(HUG)	1
	16 赤十字防災セミナー	田原本町	避難所運営ゲーム(HUG)	3
	20 赤十字防災セミナー	北葛城郡	避難所運営ゲーム(HUG)	2
	22 赤十字防災セミナー	大和郡山市	避難所運営ゲーム(HUG)	2
9 13	第4ブロック合同国際交流事業 (受入)	奈良市内 他	通訳・ガイド	1
10 16~17	第4ブロック青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会	滋賀県大津市	情報交換等	2



【賛助奉仕団総会】



【県トレーニングセンター】



【イベントへの協力】

(7) 防災ボランティア（個人）（登録人数：16名） 平成9年度発足

災害時の対応や、避難生活対応のための知識や技術を習得するため、訓練や講習会などへ参加しました。

- ① 第4ブロック合同災害救護訓練に参加しました。(6月15日：滋賀県竜王町)
- ② 奈良県防災総合訓練に参加しました。(8月31日：桜井市)

- ③ 「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。(5月・8月・11月・2月)



【「赤十字 NEWS」発送作業】

8 効果的な広報活動の展開 – 活動へのご理解とご参加を –

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

5月の「赤十字運動月間」では、地区分区を通じて、「日赤なら」、「赤十字NEWS」などの配布や、イオンモール橿原での「赤十字フェスタ」開催や近鉄奈良駅前行基広場での啓発用横断幕設置などの広報活動を行いました。

また、第4ブロック（近畿）各府県支部合同事業として、近畿圏エリアのＪＲ西日本の車両内にポスター広告を掲示し、広域的な広報活動も併せて実施しました。



【「日赤なら」広報誌】



【「日赤なら」中間報告】



【本社作成月間ポスター】

(1) 支部の広報活動

- ① 運動月間(5月)に近鉄奈良駅前行基広場にて、啓発用横断幕を設置しました。



- ② イオンモール樋原にて、「赤十字フェスタ 2019 in なら」を開催しました。



- ③ テレビ放送（運動月間：5月及び随時放送）での広報活動（奈良テレビ、コミュニティビジョン吉野ケーブルテレビ、下市テレビ）を行いました。（運動月間：5月及び年間を通じて継続的に放送依頼）
- ④ 広報誌「日赤なら」（5月に 25万部）及び「支部の活動報告」（中間報告：10月に 2万部）を作成した。
- ⑤ 遺贈、相続寄付を推進するため、日経電子版バナー広告を掲載しました。
- ⑥ 赤十字 NEWS を送付しました。
- ⑦ 講習受講者に、赤十字活動を P R し活動資金への協力を依頼しました。
- ⑧ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑨ 報道機関へは、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。（随時）

（2）地区分区への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」25万部、「日赤なら」中間報告 2万部を作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区分区広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区分区（市町村）主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報 PR を行いました。

（3）第4ブロック（近畿）合同広報活動

- ① 近畿圏エリアのＪＲ西日本の車両内にポスター広告を掲示しました。
- ② 啓発資材（ポケットティッシュ）4万個を作成しました。

9 活動資金の募集及び表彰制度 －活動資金にご協力を!!－

日本赤十字社は、会員の皆さんから納めていただく会費と、広く皆さんからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さんのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願いや、個人・法人などへのダイレクト

メール(25,523通)での募集を行うとともに、企業等とのパートナーシップ(寄付金付自販機設置など)による寄付のお願いや、遺贈による寄付の周知、自治会未加入の地域やマンションなどへ「タウンプラス」(12,907通)による活動資金の協力依頼などを行いました。

(1) CSR(社会貢献)実績

① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住 所
奈良県奈良土木事務所	奈良市
中造園	葛城市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
(株)RISING SUN	橿原市
シンシアペットクリニック	三郷町



② 活動資金募金箱設置: 35ヶ所

【寄付金付自動販売機】

(2) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項目	人 数	贈与対象内容
1. 支部長表彰状・感謝状	19	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
2. 銀色有功章	18	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
3. 金色有功章	2	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
4. 本社感謝状(6条)	8	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)



金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人)

② 国の表彰制度

項目	人 数	贈与対象内容
1. 厚生労働大臣感謝状	2	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
2. 紺綬褒章	2	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等

10 奈良県支部有功会(令和元年度末会員数：435人、昭和41年11月結成)

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、7地域の有功会（奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、王寺町、宇陀地区、橿原市、生駒市）においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

- (1) 救護看護師養成事業として、大阪赤十字看護専門学生2名に一部費用を助成しました。
- (2) 全国赤十字大会に参会しました。(5月22日)
- (3) 国内義援金及び海外救援金（8月豪雨災害義援金、京都市伏見区で発生した放火事件、台風第15号災害義援金（千葉県・東京都）、台風第19号災害義援金、モザンビークサイクロン救援金、NHK海外たすけあい）として70,000円（各10,000円）を送金しました。
- (4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい月間、老人の日・高齢者保健福祉月間、救急の日、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

(5) 総会等

月 日	行事名	場 所	内 容
4 24	有功会総会	奈良ホテル	H30年度事業報告・会計収支決算、R1年度事業計画 講演会等
4 26	生駒市有功会総会	生駒市	H30年度事業報告・平成30年度事業計画 熊本地震活動報告、ビデオ研修等
6 11	王寺町有功会総会	王寺町	H30年度事業報告・R1年度事業計画、献血啓発活動計画、ビデオ研修等
	都祁有功会総会	奈良市都祁	有功章伝達・H30年度事業報告・R1年度事業計画、熊本地震活動報告、ビデオ研修等
10 10~11	紹綴・有功会会長協議会	福岡県	H30年度事業報告・R1年度事業中間報告、講演会等
11 19	大和郡山市有功会総会	大和郡山市	H30年度事業報告・R1年度事業計画、熊本地震活動報告等
12 23	有功会連絡協議会	奈良市	H30年度会計収支決算報告 R1年度地区有功会活動報告 等



【有功会総会】



【救護看護師助成事業】



【全国赤十字大会参会】



【有功会連絡協議会】

令和元(平成 31)年度 一般会計決算報告

1 令和元(平成 31)年度 一般会計決算

					単位：円
区分		令和元(平成31)年 予算現額	令和元(平成31) 決算額	予算残額	付記
1	社資収入	370,020,000	361,834,564	△ 8,185,436	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金
2	委託金収入	0	712,688	712,688	平成30年7月豪雨災害補償
3	補助金及び 交付金収入	6,919,000	6,668,220	△ 250,780	本社からの交付金
4	繰入金収入	1,120,000	1,117,000	△ 3,000	国際救護活動資金繰入
5	資産収入	0	36,320	36,320	支部災害救援車売却
6	雑収入	4,981,000	5,235,047	254,047	講師派遣収入、講習用教材費収入等
7	前年度繰越金	20,000,000	25,706,703	5,706,703	前年度繰越金
収入合計		403,040,000	401,310,542	△ 1,729,458	
					単位：円
区分		令和元(平成31)年 予算現額	令和元(平成31) 決算額	増減	付記
1	災害救護事業費	39,150,000	32,565,572	△ 6,584,428	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等
2	社会活動費	44,220,000	34,011,903	△ 10,208,097	急救法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費
3	国際活動費	1,120,000	1,018,906	△ 101,094	フィリピン保健医療支援事業
4	指定事業 地方振興費	3,020,000	3,017,000	△ 3,000	災害救護資機材整備費
5	地区分区 交付金支出	16,390,000	10,246,998	△ 6,143,002	地区分区(市町村)における赤十字活動費
6	社業振興費	34,030,000	30,190,113	△ 3,839,887	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費、全国赤十字大会参加費
7	積立金支出	181,000,000	180,164,446	△ 835,554	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金
8	総務管理費	27,050,000	26,988,774	△ 61,226	支部の事業管理運営費
9	資産取得及び 資産管理	1,232,000	1,228,769	△ 3,231	施設管理費
10	本社送納金支出	53,250,000	51,272,634	△ 1,977,366	本社への送納金
11	予備費	2,578,000	0	△ 2,578,000	その他
支出合計		403,040,000	370,705,115	△ 32,334,885	
次年度繰越金			30,605,427	円	

2 令和元(平成 31)年度 会費収入

単位：千円

区分	H27	H28	H29	H30	R1
一般会費	135,417	106,999	116,513	137,794	118,789
うち地区・分区	88,498	87,362	82,881	79,721	78,892
うち有功会勧奨等	37,571	19,637	33,604	57,675	39,880
うち住民税控除対象の海外救援金*	9,348	0	28	398	17
法人会費	9,688	8,504	11,033	81,303	243,045
計	145,105	115,503	127,546	219,097	361,834

*個人住民税控除対象の海外救援金

H27 年度：ネパール地震救援金、H29 年度：南アジア水害救援金

H30 年度：インドネシア・ロンボク島地震救援金、インドネシア・スマラウェシ島地震救援金
モザンビークサイクロン救援金

R1 年度: モザンビークサイクロン救援金

❖日赤奈良県支部評議員会の運営

(i)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議 案
令和元年 6 月 12 日(水)	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 支部役員(副支部長)の選任 (2) 平成 30 年度支部事業報告及び収支決算報告 (3) 平成 30 年度血液事業報告
令和 2 年 2 月 21 日(金)	日赤奈良県支部 (奈良市)	(1) 監査委員の任期満了に伴う選出 (2) 令和元年度支部一般会計補正予算 (3) 令和 2 年度支部事業計画及び収支予算 (4) 令和 2 年度血液事業計画

(ii)会計監査の実施 (平成 16 年度決算から税理士 (委託) による外部監査実施)

平成 30 年度支部一般会計決算の監査を税理士 (外部監査員) と支部監査委員 2 名から受けました。

(事前監査：令和元年 5 月 28 日(火)及び本監査 6 月 5 日(水)実施)



【支部評議員会】



【支部監査委員会】

参考資料

1 令和元(平成 31)年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分		令和元(平成31)年度 実績額(円)	前年比	平成30年度 実績額(円)	前年比	前年度対比
一般 社 資	奈良市	14,370,358	92.7%	15,503,290	97.3%	△ 1,132,932
	大和高田市	3,549,100	115.0%	3,086,650	89.9%	462,450
	大和郡山市	6,163,913	101.1%	6,095,140	98.6%	68,773
	天理市	2,783,350	98.2%	2,834,950	98.6%	△ 51,600
	橿原市	6,316,105	100.7%	6,272,947	96.1%	43,158
	桜井市	2,102,220	98.8%	2,126,742	95.6%	△ 24,522
	五條市	2,597,907	98.0%	2,650,277	100.0%	△ 52,370
	御所市	2,073,240	100.9%	2,054,615	99.4%	18,625
	生駒市	6,798,550	102.0%	6,662,183	99.2%	136,367
	香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	60.0%	0
	葛城市	2,845,003	99.5%	2,859,380	98.3%	△ 14,377
	宇陀市	2,572,659	105.5%	2,437,601	95.3%	135,058
	市地区計	55,017,405	99.3%	55,428,775	93.8%	△ 411,370
	山辺郡	520,000	99.3%	523,500	99.2%	△ 3,500
	生駒郡	4,700,232	95.3%	4,930,177	95.2%	△ 229,945
一般 社 資 地区 区分	磯城郡	4,234,628	98.1%	4,316,811	99.1%	△ 82,183
	宇陀郡	541,838	94.2%	575,275	97.7%	△ 33,437
	高市郡	1,800,236	99.0%	1,818,283	97.3%	△ 18,047
	北葛城郡	6,956,346	100.2%	6,941,031	98.2%	15,315
	吉野郡	4,627,009	99.0%	4,673,273	97.6%	△ 46,264
	吉野西	494,180	96.1%	514,000	93.4%	△ 19,820
	郡地区計	23,874,469	98.3%	24,292,350	97.4%	△ 417,881
	地区分区扱計	78,891,874	99.0%	79,721,125	94.9%	△ 829,251
	支部扱計	39,880,390	69.1%	57,675,190	171.1%	△ 17,794,800
	※海外救援金計	17,000		398,010		
一般社資合計		118,789,264	86.2%	137,794,325	108.9%	△ 19,005,061
法人社資合計		243,045,300	298.9%	81,302,755	129.7%	161,742,545
社資合計		361,834,564	165.1%	219,097,080	110.4%	142,737,484

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和元(平成31)年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名	救援物資									弔慰金 (件数)	付添臨時救護 (看護師)	
	世帯	人数	毛布	布団	バスタオル	緊急セット	安眠セット	ブルーシート	タオルケット		回数	人数
奈良市	5	16	28	13	15	3		0	4	1	6	11
大和高田市	2	4	4	4	4	1		1	4			
大和郡山市												
天理市											8	10
橿原市	11	19	32	19	19	10					5	11
桜井市	3	12	12			3						
五條市												
御所市	2	9	5	9	9	2		2	4			
生駒市	2	4	2		2	2						
香芝市	2	6	8	6	6	2		2	2			
葛城市	1	2	1	2	2	1		1	2			
宇陀市												
市地区計	28	72	92	53	57	24	0	6	16	1	19	32
山辺郡山添村												
生駒郡	平群町											
	三郷町											
	斑鳩町	1	1	2	1	1	1					
	安堵町											
	計	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0
磯城郡	川西町	1	6		4	5	1			5		
	三宅町										1	1
	田原本町	1	3	3	3	3				3		
	計	2	9	3	7	8	4	0	0	8	0	1
宇陀郡	曾爾村											
	御杖村											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高市郡	高取町											
	明日香村											
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北葛城郡	上牧町										2	2
	王寺町	2	6	6	7	4						
	広陵町									1	3	4
	河合町	1	3	6	3	3	1		1		1	1
	計	3	9	12	10	7	1	0	1	0	1	6
吉野郡	吉野町	3	5	4	5	4	1				1	1
	大淀町										2	2
	下市町											
	黒滝村											
	天川村											
	下北山村											
	上北山村											
	川上村											
	東吉野村											
吉野	計	3	5	4	5	4	1	0	0	0	3	3
	野迫川村											
	十津川村											
西	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他											3	5
県											23	78
合計	37	96	113	76	77	31	0	7	24	2	55	126

令和元(平成31)年度 市町村別講習一覧

斜線	救急法						水上安全法				健康生活支援講習								幼児安全法					
	基礎		養成		短期		養成		短期		養成		地域包括事業		短期		災害時高齢者支援		養成		短期			
	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生		
奈良市	5	94	4	39	41	1,935			11	352	1	28	2	120	8	246	11	378	1	11	12	196		
大和高田市													2	50	1	35	1	54			1	47		
大和郡山市					3	66			1	52									2	240		1	11	
天理市	1	25			7	302			5	129							1	65	1	85			9	202
橿原市	1	28			7	179			1	22						2	46	2	158			3	136	
桜井市					1	20																		
五條市									2	104						2	62							
御所市									1	18														
生駒市					8	167			7	591								3	101			5	106	
香芝市																								
葛城市																								
宇陀市					2	61			1	32						5	98	1	32			1	54	
市地区計	7	147	4	39	69	2,730	0	0	29	1,300	1	28	4	170	19	552	21	1,048	1	11	32	752		
山辺郡山添村					1	8							1	20	2	25								
生駒郡	平群町				1	25			1	15			1	30	2	54						2	12	
	三郷町				4	94			1	67							1	25				2	105	
	斑鳩町				1	30											1	30				2	11	
	安堵町				2	40											1	35						
	計	0	0	0	0	8	189	0	0	2	82	0	0	1	30	2	54	3	90	0	0	6	128	
磯城郡	川西町								1	37												3	51	
	三宅町				1	21			1	102														
	田原本町				4	95			2	194						1	260					2	37	
	計	0	0	0	0	5	116	0	0	4	333	0	0	0	0	1	260	0	0	0	0	5	88	
宇陀郡	曾爾村																2	21						
	御杖村																							
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	21	0	0	0	0	0	
高市郡	高取町									1	10											1	12	
	明日香村				1	14								4	65	3	76							
	計	0	0	0	0	1	14	0	0	0	0	1	10	4	65	3	76	0	0	0	0	1	12	
北葛城郡	上牧町				2	21																		
	王寺町													1	50			1	41					
	広陵町				1	27								1	20									
	河合町				4	139			1	76														
	計	0	0	0	0	7	187	0	0	1	76	0	0	2	70	0	0	1	41	0	0	0	0	
吉野郡	吉野町				1	45																		
	大淀町						1	55	1	3	1	20												
	下市町																							
	黒滝村												2	18										
	天川村																							
	下北山村																					1	8	
	上北山村																							
	川上村																							
吉野	東吉野村																							
	計	0	0	0	0	1	45	0	0	1	55	1	3	3	38	0	0	0	0	0	0	1	8	
野迫川村					1	12																		
	十津川村																							
西計	0	0	0	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
郡地区計	0	0	0	0	24	571	0	0	8	546	2	13	11	223	10	436	4	131	0	0	13	236		
県主催	3	64	3	64	11	347			1	48						1	92	1	56			1	85	